

(参考様式4)
設備面積一覧表

※記載内容は例示したもの

サービス種類()
事業所・施設名()

種類	設置階	()階			()階			()階			合計	
		共同生活住居名称()	室数	面積	備考	共同生活住居名称()	室数	面積	備考	共同生活住居名称()	室数	面積
(居室)	1室の定員											
居室①～④	1	4	32.0㎡(8.0㎡)		()		()		()	4	32.0㎡(8.0㎡)	
居室⑤～⑨	1	5	37.5㎡(7.5㎡)		()		()		()	2	37.5㎡(7.5㎡)	
			()		()		()		()			
(居室)合計		9	69.5㎡(7.7)		()		()		()	9	69.5㎡(7.7㎡)	

居間			85.0㎡(5.6㎡)	居間食堂同一場所		()		()			85.0㎡(5.6㎡)
食堂			()	居間食堂同一場所		()		()			()
台所			15.0㎡			()		()			15.0㎡
浴室			6.2㎡			()		()			6.2㎡
脱衣室			3.0㎡			()		()			3.0㎡
便所①			5.0㎡			()		()			5.0㎡
便所②			2.5㎡			()		()			2.5㎡
洗濯室			3.2㎡			()		()			3.2㎡
事務室			7.5㎡			()		()			7.5㎡
相談室			7.0㎡			()		()			7.0㎡
						()		()			
片廊下の幅			m			m		m			
中廊下の幅			m			m		m			
共用する施設・事業所名()											

- 備考 1 設備基準で定められた設備等について、設置階ごとに記入してください。
- 2 居室については、「1室の定員」ごとに分けて記入してください。また同じ定員でも、面積の異なる部屋がある場合は、さらにそれぞれの部屋ごとに分けて記入してください。
- 3 「1人当たり面積」の算出が必要な設備は、面積欄の()内に記入してください。(算出にあたって、小数点以下第2位を切り捨ててください。)
- 面積は、内法面積として下さい。
- (参考)「内法面積」:建物の床面積を計算する場合のひとつの方法。部屋を真上から見下ろし、壁で囲まれた、その内側だけの面積を内法面積という。
- 「壁芯面積」:建物の床面積を計算する場合のひとつの方法。壁の中心線(部屋を真上から見て、壁の厚みの半分のところを通る線)で囲まれた部分の面積。
- 居間の一人当たり面積は、共同生活住居の利用定員で除して下さい。
- 4 設備の種類ごとにまとめて、合計の室数・面積を記入してください。
- 5 他の事業所又は施設と共用している場合は、「備考欄」に「共用」と記入し、「共用する事務所・施設名」欄に正式名称を記入し、共用先の当該部分の平面図を添付してください。
- 6 同一の事業所又は施設の他の設備と兼用している場合は、「備考欄」に「○○室と兼用」と記入してください。
- 7 設置階数が様式の欄を超える場合は、複数枚に分けて記入し、まとめて提出してください。